



今月「東京 2025 デフリンピック」が開催されます。デフリンピックは、国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。日本でデフリンピックが開かれるのは、今回が初めてです。

とく しゅう
特集!

音のふしぎ・聞こえのふしぎ

ことば・絵・記号・サイン・ジェスチャー・音楽・リズムなど、音や聞こえに関する本を紹介します。



『「コード」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて』

五十嵐 大/著 (紀伊國屋書店)

五十嵐さんは、耳が聴こえない・聴こえにくい親のもとで育った子ども「コード」です。聴こえる世界と聴こえない世界の両方を知る「コード」の視点から、社会問題について感じたことを投げかけます。



『オリオンは静かに詠う』

村崎 なぎこ/著 (小学館)

ろう者である咲季は、星は音を出して輝いていると思っていたことを間違いだと指摘され、ショックを受けました。そんな時、偶然競技かるたに出会います。咲季は、手話通訳士の手の動きを見て勝負に挑むのですが…。



11月の図書館						
げつ	か	すい	もく	きん	ど	にち
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	●	15	16
17	18	19	20	●	22	23
24	25	26	27	●	29	30
●の日に学校司書がきています。						

図書館は昼休み開館しています。

●のついている金曜日は

放課後も16時20分まで利用できます。

『小説 聲の形』 上・下

大今 良時/原作・絵

倉橋 燿子/文 (講談社)

小学6年生の将也のクラスに、硝子という耳の聞こえない女の子が転校してきました。退屈だった将也は、硝子に酷い「いじり」をしました。その後、彼女は再び転校し、ずっと後悔していた将也は、あることのために硝子に会いに行きます。



～今月の図書館～



今年度から、国語の教科書が三省堂に変更になっています。

図書館では、教科書に紹介されている本で蔵書にない本を1学期・2学期に分けて購入しました。

出版社の品切れを除いてすべてそろえることができました。

お話の本から、調べもの・ちょっとした雑学の本まで様々なラインアップで、皆さんの来館をお待ちしております！

来月祖母に会う予定です。祖母は車いすを利用しているので、車いすでの移動を手伝いたいのですが……



おしえて！ 分類さん

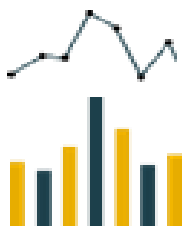


車いすに関する本は、3類の棚の分類369にあります。車いすのつくりや、介助方法などが載っていると思いますので調べてみてください。



Libnet ©桐原いづみ

図書館統計あれこれ



地理、人口、産業、文化などのテーマでいろいろなランキングを紹介しています。「バナナの生産量の多い国」第1位はどこでしょうか？左の二次元コードからアクセスして確かめてください。



外務省 （情報確認日：2025年10月3日）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/index.html>